

**習志野市ガス事業経営戦略(案)、習志野市水道事業経営戦略(案)、習志野市下水道事業経営戦略(案)  
へ頂いた意見と市の考え方**

1. 結果の概要

- (1) パブリックコメント実施期間: 令和2年2月1日～令和2年2月29日
- (2) 意見提出者人数: 1名
- (3) 意見件数: 5件

2. 意見の概要と本市の考え方

No.	区分	頁	項目	意見の概要	本市の考え方	担当課
1	水道事業	4	計画の位置付け	「習志野市水道事業中期経営計画(第3次)」の総括が欲しかった。「習志野市水道事業中期経営計画(第3次)」での見込みと実績値のズレ、それを踏まえての今回の計画であるということを示して欲しかった。	「習志野市水道事業中期経営計画(第3次)」は、概ね達成できており、最終年度である令和元年度の決算確定後に検証・評価を行います。	営業企画室
2	水道事業	21	収支計画	値上げをするとしたら、どの程度になるかの見込みも欲しい。世帯別モデルをあげた具体的な数字があったり、幅を持たせた数字があると良いと思う。	当戦略においては、料金改定を見込まず、計画期間の中で検討することとしました。	営業企画室
3	水道事業	37	主要施策(定員管理適正化)	「習志野市水道事業中期経営計画(第3次)」では、予定人員が平成30年度までに32人のはずですが、本計画では30人の予定のようである。  経営的視点からの事業の効率化等も大事ですが、職員の雇用や労働環境の方を蔑ろにしないで欲しい。 人材育成の項目はあるが、労働環境改善に関する項目が本資料にあっても良いと思った。	「習志野市水道事業中期経営計画(第3次)」における定員管理計画では、平成30、31年度の計画定員が2名増の32名としておりました。これは、第1給水場更新・(仮称)第4給水場建設事業に伴い増員を計画しておりましたが、進捗状態等を考慮した結果、30名での事業実施となっております。  職員の労働環境につきましては、本市としましても重要事項として捉えており、ご指摘を受け、「良好な職場環境の確保に努めつつ、」を追記します。	企業総務課
4	水道事業	46	将来に向けた検討事項(新庁舎建設の検討)	新庁舎建設の検討について、テナントでも別に構わないと思う。応援事業者の受入れスペースがこちらでなければいけない理由があるのか?値上げがあると言っているのに新庁舎を建てるのは、ちょっと納得いかない。	災害が発生した際は、本市と応援事業者とが緊密に連携することで迅速で効率的な復旧が図れます。そのため、テナント等ではなく庁舎内に、対策本部会議や共同作業を行うことが可能な受入スペースを確保しておくことは有効であると考えています。  また、本文で記載しましたとおり、現在の企業局庁舎は、老朽化に加えバリアフリー化も進んでおらずお客様にはご負担をおかけしているという課題もあります。  こうしたことから、将来に向けた検討事項として掲げ、庁舎の規模、形状、立地場所等、新庁舎建設を検討します。	企業総務課
5	水道事業	47	将来に向けた検討事項(広域化の検討)	広域化の検討とありますが、遠方監視制御装置更新工事(6億3千万円)、第2給水場ろ過池更新工事(8億6千万円)が無駄金になりはしないか?近隣の水道事業者と一部事業の統合などの可能性はありませんか?	水道水を安定供給するために、計画期間内に必要な更新工事を計上しています。  また、広域化については、令和4年度までに千葉県が県内水道事業の広域化の推進方針やこれに基づく当面の具体的取組の内容等を定める「水道広域化推進プラン」を関係市等と対話をしながら策定することになっており、経営戦略については、その進捗に応じ見直します。	営業企画室